

平成27年度～令和元年度  
岐阜市上下水道事業  
中期経営プラン実績報告

令和2年10月



# 実績報告

## 企業経営における取組

(2) 重点取組項目

プランP.15～24の取組

### 実施状況欄について

①数値目標があるもの

⇒決算数値

②数値目標がないもの

⇒△:調査・検討・協議 ○:方針決定 ◎:実施 →:継続実施

※未実施の場合はその旨を記載

### 目標1 人づくり・組織作りに取り組み、経営の効率化を図ります。

項目	区分	内容	目標・効果等	進捗状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実施状況(コメント)
職員研修の取組	共通	■接遇や公務員倫理などの職員研修に取り組み、職員一人ひとりの資質の向上に努めます。	■職員一人ひとりがスキルアップしていくことにより、更なるサービス向上を図ります。	年次目標	・職場研修の実施、継続	→	→	→	→	毎年度、各課において公務員倫理などの職員研修を実施。今後も実施していく。
				実施状況	◎	→	→	→	→	
上下水道維持管理職員の育成	共通	■水道管や下水道管の施工や維持管理に関する研修を活用し、維持管理業務を中心とした職員の能力向上を図ります。	■最新の技術に対応できる技能を持つ職員を育成していくことで、重要なライフラインである上下水道をしっかりと維持管理していきます。	年次目標	・実務経験や研修を活用した職員の育成	→	→	→	→	上下水道事業部の職員並びに岐阜市指定管工事協同組合の組合員を対象に研修会を令和元年度に11回開催。今後も実施していく。
				実施状況	→	→	→	→	→	
適正な職員配置による事業運営	共通	■技能労務職のあり方を検討し、適正な職員配置を行うことで、事業運営に必要な技能の継承を図ります。	■水道及び下水道に関する技能の継承により、適正な維持管理や災害対応を確実に実施するとともに、安心・安全なサービスの提供を継続します。	年次目標	・技能労務職のあり方の検討、職員の適正配置	→	→	→	→	事業に関する技術継承を今後、確実に進めていくため、将来的な視点を含めた人員配置(任用制度の検討を含む。)についての検討を継続している。
				実施状況	→	→	→	→	→	

### 目標2 安定した事業運営を実現するため、健全な財政運営に努めます。

項目	区分	内容	目標・効果等	進捗状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実施状況(コメント)	
料金水準及び制度の適正化	共通	■水道・下水料金とともに、料金水準及び制度の適正化を継続して検討し、将来を見据えたあり方を決定していきます。	■料金収入による財源確保を行うことで、必要とされる設備投資を確実に実行しながら、借金である企業債の発行を抑制し、財政の健全化を図ります。	年次目標	・水道料金のあり方の検討	→	→	→	→	水道料金について平成28年度に、下水料金について令和元年度にあり方を検討した。	
				実施状況	◎	→	→	→	→		
				年次目標	・下水料金のあり方の検討	→	→	→	→		→
				実施状況	◎	→	→	→	→		◎
上下水道事業に適用可能な補助制度の確実な活用	共通	■各省庁や県の補助制度に十分な注意を払い、活用可能な補助制度には確実に対応します。 ■補助制度の充実などを継続して国などに要望していきます。	■補助制度の活用により、財源を確保し、必要な事業を確実に進めつつ、企業債の抑制に努めます。	年次目標	・補助制度の活用を検討	→	→	→	→	既存の補助制度を確実に活用するとともに、国・県等に対して制度の拡充等について継続して要望を行っている。	
				実施状況	◎	→	→	→	→		
				年次目標	・補助制度の充実を国などへ要望	→	→	→	→		→
				実施状況	◎	→	→	→	→		→
企業債残高の縮減	共通	■料金制度適正化などにより、投資財源を確保し、借金である企業債の発行を抑制します。	■企業債の発行の抑制により、財政の健全化を図ることで、世代間の負担の公平性を確保します。	年次目標	・水道事業企業債残高 ■350億円	■338億円	■331億円	■322億円	■313億円	発行抑制などによる減により、水道・下水道事業ともに目標値を下回る残高となった。	
				実施状況	344億円	336億円	329億円	319億円	308億円		
				年次目標	・下水道事業企業債残高 ■642億円	■631億円	■620億円	■614億円	■600億円		
				実施状況	633億円	625億円	616億円	602億円	588億円		
水道・下水料金の収納率の向上	共通	■今後も継続して、営業関連業務委託の受託事業者と連携し、未納者への督促状などの送付、戸別訪問、給水停止処分などにより滞納整理を進めるとともに、口座振替への切替えを推進します。 ■平成26年度から導入した業務委託契約における報奨金・違約金制度の効果を検証します。	■水道・下水料金の収納率の向上により、収入の増加分を確保するとともに、口座振替による確実な収納を実現します。	年次目標	・収納率 ■98.34%	■98.36%	■98.38%	■98.4%	■98.42%	令和元年度は、目標収納率を上回った。報奨金・違約金制度を導入後、継続して目標収納率を達成している。 今後も、営業関連業務委託受託者と連携し、未納者への督促状等の送付、給水停止処分等により滞納整理を進める。 なお、平成31年1月より、未収金回収業務(主に過年度を対象)を弁護士法人へ委託し、未収金回収強化を図った。	
				実施状況	・収納率 ■98.60%	■98.73%	■98.90%	■98.99%	■99.05%		
				年次目標	・報奨金、違約金制度の検証	→	→	→	→		
				実施状況	◎	→	平成31年1月からの営業関連業務委託を締結	平成31年1月より新規営業関連業務委託を開始	→		→
未利用地の有効活用及び売却	共通	■保有財産について精査を行い、有効利用に努めるとともに、未利用地の売却などによる収入の確保を行います。	■未利用地の売却により、維持管理経費の削減を図るとともに、事業運営の財源を確保します。	年次目標	・未利用地の売却	→	→	→	→	定期的に保有財産について精査を行い、売却可能な未利用地については、今後も計画的に売却を進める。 令和元年度について、3件を売却対象とし、1件を売却した(売却金額:12,546千円)。ほかの2件は、入札及び随意契約売却の募集を実施した。また、新たな売却対象とするため、1件の建物を撤去した。	
				実施状況	◎ (1件)	売却実績なし	売却実績なし	売却実績なし	◎ (1件)		

項目	区分	内容	目標・効果等	進捗状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実施状況（コメント）
井戸水から水道水への切替促進	水道	<ul style="list-style-type: none"> <li>■継続的な戸別訪問などの実施や助成制度の活用により、井戸水利用者への水道普及に努めます。</li> <li>■大口利用者の獲得につながる情報収集と普及促進に取り組めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■水道利用者数の増加を図り、料金収入の増加につなげます。</li> </ul>	年次目標	・井戸水からの切替戸数 ■140戸	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標値を上回っており、今後も継続的な戸別訪問等を実施し、水道水普及に努めていく。</li> </ul>
				実施状況	・切替戸数 ■142戸	・切替戸数 ■138戸	・切替戸数 ■130戸	・切替戸数 ■210戸	・切替戸数 ■215戸	
				年次目標	・大口利用者の獲得に向けた情報収集及び普及促進	→	→	→	→	
				実施状況	→	→	→	→	→	
水洗化の促進	下水道	<ul style="list-style-type: none"> <li>■継続的な戸別訪問の実施や助成制度の活用などにより、下水道接続を促進します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■清潔で快適なくらしを実現し、公衆衛生の向上に寄与するほか、下水道利用者数の増加を図り、料金収入の増加につなげます。</li> </ul>	年次目標	・切替戸数 ■600戸	・切替戸数 ■450戸	・切替戸数 ■370戸	・切替戸数 ■340戸	・切替戸数 ■266戸	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標値を下回った。目標達成のため、引き続き供用開始1年以内の地域を重点に、そのほかの地域も戸別訪問等を実施し、水洗化の推進を図っていく。</li> </ul>
				実施状況	・切替戸数 ■566戸	・切替戸数 ■519戸	・切替戸数 ■470戸	・切替戸数 ■255戸	・切替戸数 ■184戸	
受益者負担金の収納率の向上	下水道	<ul style="list-style-type: none"> <li>■滞納を防ぎ、期限内納付を促進するため、口座振替を推進します。</li> <li>■市街化調整区域の下水道整備が開始されるため、その影響を考慮し、滞納調査や催告、訪問による徴収などの取組強化を検討します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■口座振替の推進や徴収事務の強化などにより、収納率の向上を図ります。</li> </ul>	年次目標	・口座振替の推進	→	→	・徴収事務の見直し検討	・収納率 ■94%	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、新規賦課納入通知書の送付時に口座振替への切替えの案内文書振替を同封するなど、口座振替を推奨するとともに、滞納者への催告、訪問による徴収を実施していく。</li> </ul>
				実施状況	◎ ■口座振替率 13.0%	→ ■口座振替率 17.5%	→ ■口座振替率 11.7%	→ ■口座振替率 13.5%	→ ■口座振替率 13.2%	
井戸水メーター設置の推進	下水道	<ul style="list-style-type: none"> <li>■認定基準（みなし水量）により下水料金を算定している井戸水等利用世帯に対し、井戸水メーターの設置を推進します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■井戸水メーターの設置推進により、正確な下水放流量を計測するとともに、認定基準適用世帯の減少を図ります。</li> </ul>	年次目標	・設置件数 ■450件	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>「既設」は継続使用されている設備への設置で、案内の送付を実施したものの、前年より2件増加し85件の設置となった。</li> <li>「新規」は新築・改築時等の申請工事による設置で、前年より3件増加し85件の設置となった。</li> <li>郵送によるメーター設置の案内件数を前年度とほぼ同数送付。戸別に訪問する等、設置の促進を強化していく。</li> </ul>
				実施状況	・設置件数 ■170件 既設53件 新規117件	・設置件数 ■211件 既設100件 新規111件	・設置件数 ■200件 既設92件 新規108件	・設置件数 ■165件 既設83件 新規82件	・設置件数 ■170件 既設85件 新規85件	
受益者負担金前納報奨金制度のあり方	下水道	<ul style="list-style-type: none"> <li>■市税や国民健康保険料では前納報奨金制度の見直しが行われていることから、受益者負担金についても、制度の利用状況や他都市調査などの結果を踏まえ、制度の見直しについて方針を決定します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■適正な助成制度のあり方について検討し、前納報奨金の交付率の適正化を図ります。</li> </ul>	年次目標	・納付実態や制度の利用状況等の調査及び整理	→	・他都市調査の実施	・制度の検証	・制度適正化の方針決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>経過措置を設け、令和2年4月1日に制度を廃止した。</li> </ul>
				実施状況	◎	→	→	○	◎	

目標3 重要なライフラインとして施設設備の機能維持・向上に努めます。

項目	区分	内容	目標・効果等	進捗状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実施状況（コメント）	
水道施設の計画的な整備の推進	水道	<p>■今後、老朽化等に伴う水道施設の更新需要の増加に対し、財政的な側面を勘案しながら、計画的な整備を推進します。</p>	<p>■計画的に整備を進めていくことにより、水道施設の機能維持を的確に行い、将来にわたって安定的な水道水の供給を行います。</p>	年次目標	・事業計画に基づく事業の推進（年平均投資約24億円）	→	→	→	→	<p>平成27年度に第5期水道整備事業計画を策定（H28～R2）し、整備を推進している。</p>	
				実施状況	◎	→	→	→	→		
				年次目標	・必要に応じた事業計画の見直しの実施	→	→	→	→		→
				実施状況	◎	→	→	→	→		→
水源地の統廃合	水道	<p>■水源地の統廃合を進めることにより、効率的な施設の維持管理を行いながら、安全で安定した水道水の供給を行います。</p>	<p>■統廃合により、水源地の維持管理の効率化や経費の削減が図られるとともに、安定して安全な水道水を供給できる施設設備の維持管理を行います。</p>	年次目標	・黒野第1南水源地を廃止（雄総水源地からの送水）	・黒野第2水源地を廃止（木田水源地からの送水）	/	・岩野田水源地を廃止（雄総水源地からの送水）	/	<p>黒野第2水源地の廃止については、木田水源地給水エリアの一部において、低水圧であることが判明したため、木田水源地からの送水の拡大方針を今後検討していく。岩野田水源地の廃止については、雄総給水ブロックの施設整備の方策とあわせ検討中。</p>	
				実施状況	◎	△ (黒野第2水源地の廃止は延期)	◎ (岩野田水源地を休止) △ (黒野第2水源地の廃止はR2以降を予定)	△ (黒野第2水源地、岩野田水源地の廃止はR2以降を予定)	△ (黒野第2水源地、岩野田水源地の廃止はR2以降を予定)		
有収率の向上	水道	<p>■計画的に漏水防止調査の作業内容の見直し、常時ドレーン水量の減量化、給水管対策や配水管の更新の推進などに取り組むことにより、現行の水道ビジョンに掲げる有収率78.5%の達成を目指します。</p> <p>■平成27年度から検討する新たな水道ビジョンの策定において、実施した取組を検証し、新たな年度ごとの有収率の目標値を設定します。</p>	<p>■有収率の向上（目標値：平成30年度78.5%）により、効率的な配水を行います。</p> <p>■取組の効果を的確に把握・検証し、年度ごとの新たな目標値を設定します。</p>	年次目標	→	→	→	・有収率目標値 ■78.5%	→	<p>漏水防止計画に基づく効率的かつ計画的な漏水調査、ドレーン水量の減量化及び配水管整備計画等に基づき、布設替えを継続的に実施している。本市で実施している施策について、有識者の意見を聞くため改善対策検討会議を開催。施策の有効性が確認されたため、引き続き施策を継続実施していく。</p> <p>新水道ビジョン目標値 ■80.0%（R6）</p>	
				実施状況	74.7%	74.8%	74.4%	74.5%	74.1%		
				年次目標	・新たな水道ビジョンの検討において、有収率の目標値を検討、設定	→	→	→	→		
				実施状況	◎	→	→	→	→		
下水道施設長寿命化計画の推進	下水道	<p>■下水道施設の長寿命化計画を策定し、計画的な改築を推進することで、適切な施設の維持管理を行います。</p>	<p>■計画的に下水道施設の改築を行うことにより、施設の老朽化等に対応し、衛生的な生活環境を維持します。</p>	年次目標	・長寿命化計画に基づく事業の推進	→	→	/	/	<p>処理場及びポンプ場の施設、汚水管並びに雨水渠を対象とした岐阜市下水道ストックマネジメント計画を策定し、長寿命化事業を実施している。</p>	
				実施状況	→	→	→	→	→		
				年次目標	/	・平成30年度からの次期長寿命化計画の検討	・次期長寿命化計画の方針及び計画の決定	・次期長寿命化計画に基づく事業の推進	→		→
不明水対策の実施	下水道	<p>■計画的な不明水調査結果に基づいて、継続的にマンホール調査を行い、必要に応じて浸入水防止処置を実施します。</p>	<p>■不明水を原因とする下水流出量を減少させることで、下水処理場の維持管理経費や流域下水道維持管理負担金の削減を図ります。</p>	年次目標	・不明水対策の継続実施	→	→	→	→	<p>第2次不明水対策計画（平成26年度～平成28年度）が平成29年度末に完了。令和元年度は、平成29年度に策定した第3次不明水対策計画（平成30年度～令和6年度）に基づいて、対策を実施した。</p>	
				実施状況	→	→	→	→	→		

**目標4 更なる経営基盤の強化を目指します。**

項目	区分	内容	目標・効果等	進捗状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実施状況（コメント）	
下水汚泥焼却炉の自然化技術の導入	下水道	<p>■設備の更新時期に合わせて、低含水脱水汚泥を自燃化させる設備を北部プラントに段階的に導入します。</p>	<p>■補助燃料である重油の使用量を大幅に減らし、燃料費の削減を図るとともに、地球温暖化対策に貢献します。</p>	年次目標	・低含水脱水汚泥の焼却による重油量の縮減	→		・脱水汚泥移送設備の更新	・脱水汚泥貯留槽の更新	・自然運転の本格化	<p>高効率型選心脱水機が令和元年6月末に完成し、脱水ケーキ含水率が低減。中部プラントでは最初沈殿池の稼働により、汚泥脱水性が向上し、脱水汚泥含水率が低減。自然化に向けては、新たな貯留・搬送設備の導入が必要で、相当なコストがかかる。今後、老朽化設備の更新需要が益々増加していくなか、下水道SM計画に基づき、設備の健全性を確保するための改築を優先する必要がある。北部及び中部の脱水ケーキ含水率が低減したことで、自然しないまでも重油使用量の削減効果が期待できる。</p> <p>以上の理由より、令和元年度で終了し、安定した水処理及び重油使用量を抑えた汚泥処理を目指すものとする。</p>
				実施状況	→	→	→	→	→	→	
下水処理場水質検査項目の見直し	下水道	<p>■処理場排水と同時に行っている流入水検査は、法令上の義務がなく、これまで異常事象の発生がない検査項目については見直しを行い、費用の削減を図ります。</p>	<p>■検査項目の見直しにより、検査に係る委託費用を削減します。</p>	年次目標	・流入水の検査項目の見直しの実施						<p>流入水の委託検査を廃止し、費用を削減した（平成27年度完了）。</p>
				実施状況	◎						

**目標5 皆さまに信頼される事業運営に努めます。**

項目	区分	内容	目標・効果等	進捗状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実施状況（コメント）				
積極的な情報発信・情報公開の推進	共通	<p>■上下水道事業の財政状況や水道水質などの情報を分かりやすく発信します。</p> <p>■断水情報など生活へ影響がある情報を、迅速に発信していく方法について検討します。</p> <p>■ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）などを活用した新たな広報展開を検討します。</p>	<p>■上下水道事業への理解を深めていただくため、分かりやすい情報発信に積極的に取り組みます。</p> <p>■寄せられる要望や意見にしっかりと向き合い、事業の改善に取り組みます。</p>	年次目標	・ホームページ、広報紙による情報発信	→	→	→	→	→	<p>引き続き、ホームページや広報紙「水のこえ」などにおいて、情報発信を行っている。</p> <p>悪質な訪問販売について、ラジオ（ぎふチャン及びFMわっち）にて注意喚起を行うとともに、下水道について、TV番組「あなたの街から・岐阜市」（ぎふチャン）にてPRするなど、多様な広報を行っている。</p>			
				実施状況	◎	→	→	→	→	→		→	→	
				年次目標	・ホームページへの緊急情報掲載の検討	→								
				実施状況	◎	→								
				年次目標	・新たな広報展開の検討	→								
				実施状況	◎	→								
おいしい水の啓発及び環境保全への取組の啓発	共通	<p>■ペットボトル水の製造及び販売を継続し、岐阜市の水道原水が非常に良質であることを広くPRしていきます。</p> <p>■ホームページや広報紙「水のこえ」などを活用し、上下水道事業の取組を発信します。</p>	<p>■市民の皆さんに良質な水道原水であることを実感していただき、水道の更なる普及を図ります。</p> <p>■下水道事業の環境保全に果たす役割をお伝えし、事業の必要性を発信していきます。</p>	年次目標	・ペットボトル水の製造、販売	→	→	→	→	→	<p>ペットボトル水の製造、販売を継続的に実施するとともに、水道水の「おいしさ」について、TV番組「あなたの街から・岐阜市」（ぎふチャン）にてPRを行ってきたが、環境負荷軽減の観点から、ペットボトル水の製造・販売は、令和元年度をもって廃止した。</p> <p>ホームページや広報紙「水のこえ」などにおいて、上下水道事業の財政状況、施設設備の災害対策等について広報を行った。</p>			
				実施状況	◎	→	→	→	→	→		→		
				年次目標	・ホームページ等を活用した上下水道事業の取組の発信	→	→	→	→	→		→	→	
				実施状況	◎	→	→	→	→	→		→	→	
水道・下水道料金の支払方法の多様化	共通	<p>■お客さまサービス、必要経費などを総合的に勘案して、支払方法の多様化について、検討を行います。</p>	<p>■お客さまの利便性を高め、サービスの向上を図ります。</p>	年次目標	・制度の調査	・多様化の検討	→	→	→	<p>平成30年度にPayB、LINE Payのモバイル決済サービスを開始した。令和元年度はPayPay導入準備を行った。</p>				
				実施状況	△	△	△	◎	○		○			
モニタリング制度導入の検討	共通	<p>■直接、利用者の皆様と対話できるモニター制度の導入を検討します。</p>	<p>■皆様の声やアイデアを事業経営に反映させ、満足度の向上を図ります。</p>	年次目標	・制度導入の検討	→	→	→	→	<p>モニタリング制度の導入を決定し、設置要綱等の整備を行った。（平成29年度整備完了）</p>				
				実施状況	◎	→	◎							

# 実績報告

## 事業運営における取組

プランP.28～31の取組

(2) 重点取組項目

### 目標A 安全でおいしい水を供給します(水道事業)。

#### 実施状況欄について

①数値目標があるもの

⇒決算数値

②数値目標がないもの

⇒△:調査・検討・協議 ○:方針決定 ◎:実施 →:継続実施

項目	区分	内容	目標・効果等	進捗状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実施状況(コメント)	
配水池の整備	水道	■水源から送られる水道水を貯留するため、配水池の整備を行います。	■変動する需要量に確実に対応し、水道水を安定的に供給するとともに、貯留時間の向上を図り、災害に強い水道の確立に寄与します。	年次目標	岩野田配水池・工事実施	→	・配水開始			平成27年度、岩野田配水池の建設工事に着手し、平成28年度及び平成29年度に関連施設(加圧施設)を整備し、平成29年度末より配水を開始した。藍川配水池の基本設計については、他工事との調整により、実施を見送った。	
				実施状況	◎	→	◎				
				年次目標			藍川配水池・基本設計	・詳細設計	・用地取得		
				実施状況			未実施	未実施	未実施		

### 目標B 良好な水環境を創造します(下水道事業)。

項目	区分	内容	目標・効果等	進捗状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実施状況(コメント)	
北東部処理分区の下水道整備	下水道	■北東部処理分区の下水道整備(市街化区域)について、平成27年度の完成を目指します。	■北東部処理分区の整備により、市街化区域全体の下水道整備を概ね完了します。	年次目標 実施状況	・市街化区域の下水道整備が概ね完了 ◎					北東部処理分区の整備により、市街化区域全体の下水道整備が概ね完了した(平成27年度完了)。	
中部プラントの改築	下水道	■中部プラントは、設備の老朽化が深刻であるため、全面改築工事を行います。(平成27～30年度:第3期改築工事)	■全面改築により、汚水処理機能の高度化(ステップ流入式多段硝化脱窒法+急速ろ過)を図り、良好な水環境の保全に寄与するとともに、施設の耐震化を実現します。	年次目標 実施状況	・第3期改築工事(最初沈殿池、急速ろ過・塩素混和池棟)の着手 →	→	→	・第3期施設による処理開始	→	◎	平成27年度から第3期工事に着手しており、令和元年6月工事完成。
下水汚泥焼却灰からのりん回収	下水道	■下水汚泥焼却灰に含まれるりんについて、北部プラント内の施設で回収し肥料化するとともに、その副産物である処理灰の有効利用に取り組みます。	■りんの肥料化、処理灰の有効利用により、循環型社会の構築及び資源の再利用に寄与します。	年次目標 実施状況	・継続実施 →	→	→	→	→	→	平成22年度からりんを回収し、りん酸肥料『岐阜の大地』及び処理灰の有効利用を行っている。維持管理費低減の取組を継続。 平成29年度から処理灰の余剰在庫について、セメント原料等への再資源化を実施。
市街化調整区域の下水道整備	下水道	■市街化調整区域の下水道整備に、事業の採算性や投資効果を重視しながら着手します。	■衛生的で快適な生活環境を提供し、公共用水域の水質を保全します。	年次目標 実施状況	・採算性や投資効果を勘案し、事業に着手 →	→	→	→	→	→	平成27年度に市街化調整区域に着手し、これまでに一日市場地区及び集中浄化槽団地の城田寺団地、百楽団地、太郎丸団地、岩井東団地、福丸団地の整備を完了した。令和元年度は石原台団地と大蔵台団地(連絡管)において下水道整備に着手した。
ディスプレイモデル事業の継続	下水道	■各家庭の排水設備としてディスプレイモデルの導入に向け、モデル事業を平成29年度まで継続します。 ■モデル事業の中で、下水道システムへの影響を検証し、その導入の可否を判断します。	■検証結果に基づき、ディスプレイモデルの導入が可能となった場合は、臭気や鳥獣被害の低減による住環境の向上が期待できます。	年次目標 実施状況	・モデル事業の継続 →	→	・導入可否の決定 ○				下水道への影響については、一定の知見を得られたため、モデル事業を終了した。 これまでどおり北西部処理区の家事用のみ設置を認めていく方針

目標C 災害に備えた対策の充実を図ります(水道事業・下水道事業)。

項目	区分	内容	目標・効果等	進捗状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実施状況(コメント)	
水道施設の耐震化	水道	<p>■都市機能に欠かすことができないライフラインの一つとして、地震災害時にも配水機能を確保するため、水道施設の耐震補強を行います。</p>	<p>■災害に備えた対策の充実を図ります。</p>	年次目標	・工事実施	→	→	→	→	・基幹施設完了	
				実施状況	→	→	→	→	→	→	鏡岩水源地管理棟は、耐震補強が困難なため改築の設計を行った。芥見野村水源地自家発棟は、診断の結果、耐震性を有していることが判明し未実施。 下川手水源地ポンプ棟・配水池は令和元年度へ繰越し。
				年次目標	<p>■雄総水源地管理棟・自家発棟</p> <p>■鏡岩水源地管理棟</p> <p>■鏡岩水源地自家発棟</p> <p>■市橋水源地ポンプ棟・配水池</p> <p>■本荘水源地配水池</p>	<p>■雄総水源地管理棟</p> <p>■雄総水源地自家発棟</p>	<p>■鏡岩水源地自家発棟</p> <p>■市橋水源地ポンプ棟・配水池</p>	<p>■下川手水源地ポンプ棟・配水池</p> <p>■市橋水源地ポンプ棟・配水池</p>	<p>■雄総水源地自家発棟(H29未実施分)</p> <p>■下川手水源地ポンプ棟・配水池(H30未実施分)</p>	<p>■鏡岩水源地自家発棟(H29未実施分)</p> <p>■下川手水源地ポンプ棟・配水池(H30未実施分)</p>	<p>下川手水源地ポンプ棟・配水池耐震補強工事は令和元年度へ繰越し。</p> <p>今後も水道施設耐震化計画に基づき、順次、施設の耐震化を図っていく。</p>
配水管の耐震化	水道	<p>■市民生活を支える重要なライフラインとして、地震災害時においても最低限の機能を確保するため、配水管の耐震化を進めます。</p>	<p>■耐震管を布設していくことで、災害に強い水道となり、ライフラインとしての機能が向上します。</p>	年次目標	<p>・基幹管路(口径300mm以上)の耐震化率</p> <p>■46%</p>	■46%	■47%	■47%	■48%	整備費の上昇及び口径300mm未満の配水管の更新との調整により、目標値は未達成となった。平成28年度から国の補助の対象となったことから、この補助を活用し、第5期水道整備事業計画に基づいて、整備を推進し、耐震化率の向上に努める。	
				実施状況	44.6%	44.9%	45.6%	45.8%	45.9%		
下水道施設の耐震化	下水道	<p>■都市機能に欠かすことができないライフラインの一つとして、地震災害時に最低限の機能を確保するため、プラント等の耐震補強を行います。</p>	<p>■施設の活動拠点となる管理棟などを中心に、災害に備えた対策の充実を図ります。</p> <p>■沈殿池や反応槽等の水処理施設は、抜本的な耐震対策が困難であるため、施設の全面改築時に耐震化を実施します。</p>	年次目標	<p>■北部プラント減菌棟</p>	<p>■北部プラント管理棟2</p> <p>■南部プラント管理棟1</p>	<p>■北部プラントフロウ棟</p> <p>■則武ポンプ場ポンプ棟</p>			<p>南部プラント管理棟1耐震補工事は令和元年度へ繰越し。</p> <p>今後も下水道総合地震対策事業計画に基づき、順次、施設の耐震化を図っていく。</p>	
				実施状況	<p>■北部プラント減菌棟(繰り越してH28に完了)</p>	未実施	<p>■北部プラント管理棟2(H28未実施分)</p>	<p>■則武ポンプ場ポンプ棟(H29未実施分)</p>	<p>■南部プラント管理棟1(H28未実施分)</p>		
下水管渠の耐震化	下水道	<p>■都市機能に欠かすことができないライフラインとして、地震災害時においても、最低限の機能を確保していくため、幹線管渠を中心に、下水道管の耐震対策を行います。</p>	<p>■耐震対策を行うことにより、災害に強い下水道を確立します。</p>	年次目標	・耐震対策工事の継続実施	→	→	→	→	中部第1～第4幹線(バイパス管)の事業を継続して実施している。	
				実施状況	→	→	→	→	→	→	
公共下水道(雨水渠)の整備	下水道	<p>■浸水対策として、公共下水道の一つである雨水渠の整備を進めます。</p>	<p>■整備の強化により、市街地の浸水解消の向上が図られます。</p>	年次目標	・雨水渠整備の推進	→	→	→	→	中部排水区・東部排水区・北東部排水区において下水道(雨水)整備を継続して実施している。	
				実施状況	→	→	→	→	→	→	

# 実績報告

## 取組の具体的な効果

企業経営における取組の効果額

### 実施状況欄について

数値目標

⇒ 決算数値

実施状況

⇒ ◎:実施 ○:方針決定 △:未達

取組項目	目標	項目	年 度					合計
	実施状況		H27	H28	H29	H30	R元	
井戸水から水道水への切替促進	目標	戸数	140	140	140	140	140	700
		累計(戸)	140	280	420	560	700	—
		前年比効果額(千円)	2,870	4,940	4,940	4,940	4,940	—
		年度効果額計(千円)	2,870	7,810	12,750	17,690	22,630	63,750
	実施状況	戸数	142	138	130	210	215	—
		累計(戸)	142	280	410	620	835	—
		前年比効果額(千円)	2,915	4,923	4,697	6,228	7,510	—
		年度効果額計(千円)	2,915	7,838	12,535	18,763	26,273	68,324
水洗化の促進	目標	目標(戸)	600	450	370	340	266	2,026
		累計(戸)	600	1,050	1,420	1,760	2,026	—
		前年比効果額(千円)	12,100	17,720	13,940	12,170	10,250	—
		年度効果額計(千円)	12,100	29,820	43,760	55,940	66,200	207,820
	実施状況	戸数	566	519	470	255	184	—
		累計(戸)	566	1,085	1,555	1,810	1,994	—
		前年比効果額(千円)	11,414	18,623	16,956	11,914	7,377	—
		年度効果額計(千円)	11,414	30,037	46,993	58,907	66,284	213,635
水源地の統廃合	目標	スケジュール	黒野第1南廃止	黒野第2廃止	—	岩野田廃止	—	—
		効果額(千円)	110,000	99,000	—	96,000	—	305,000
	実施状況	実施状況	◎	△	—	△	—	—
		効果額(千円)	110,000	—	—	—	—	110,000
有収率の向上	目標	目標(%)	—	—	—	78.5	—	—
		年度効果額計(千円)	—	—	—	4,560	4,560	9,120
	実施状況	有収率	74.7	74.8	74.4	74.5	74.1	—
		年度効果額計(千円)	—	—	—	—	—	—
下水汚泥焼却炉の自然化技術の導入	目標	スケジュール	重油量の縮減	⇒	移送設備の更新	貯留槽の更新	自然運転の本格化	—
		前年比効果額(千円)	520	450	460	520	46,300	—
		年度効果額計(千円)	520	970	1,430	1,950	48,250	53,120
	実施状況	実施状況	△	△	△	△	△	—
		前年比効果額(千円)	0	0	0	0	0	—
		年度効果額計(千円)	0	0	0	0	0	—
下水処理場水質検査項目の見直し	目標	スケジュール	検査項目の見直し	—	—	—	—	—
		前年比効果額(千円)	400	—	—	—	—	—
		年度効果額計(千円)	400	400	400	400	400	2,000
	実施状況	実施状況	◎	—	—	—	—	—
		前年比効果額(千円)	400	—	—	—	—	—
		年度効果額計(千円)	400	400	400	400	400	2,000
年度別効果額合計	目標	125,890	138,000	58,340	176,540	142,040	640,810	
	実績	124,729	38,275	59,928	78,070	92,957	283,959	

# 実績報告

## 取組の具体的な効果

### 実施状況欄について

数値目標

⇒ 決算数値

実施状況

⇒◎:実施 ○:方針決定 △:未達

### 事業運営における取組の効果額

取組項目	目標	項目	年 度					合計
	実施状況		H27	H28	H29	H30	R元	
下水汚泥焼却灰からのりん回収	目標	スケジュール	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	
		前年比効果額 (千円)	100	60	60	60	60	
		年度効果額計 (千円)	100	160	220	280	340	1,100
	実施状況	実施状況	◎	△	△	△	△	
		前年比効果額 (千円)	40	0	0	0	0	
		年度効果額計 (千円)	40	40	40	40	40	200
ディスポージャーモデル事業の継続	目標	目標(戸)	10	20	30	50	50	160
		累計(戸)	10	30	60	110	160	
		前年比効果額 (千円)	20	90	130	210	350	
		年度効果額計 (千円)	20	110	240	450	800	1,620
	実施状況	戸数	0	0	0	-	-	
		累計(戸)	0	0	0	-	-	
		前年比効果額 (千円)	0	0	0	-	-	
		年度効果額計 (千円)	0	0	0	-	-	0
年度別効果額合計	目標	120	270	460	730	1,140	2,720	
	実績	40	40	40	40	40	200	

# 収支計画・目標指標のまとめ

## 水道事業の収支計画

■ 計画値

□ 実績値

### 需要予測

	H25 決算	H26 見込	H26 決算	H27 計画	H27 決算	H28 見込	H28 決算	H29 計画	H29 決算	H30 計画	H30 決算	R元 計画	R元 決算
給水戸数(戸)	146,020	147,300	147,086	148,600	148,260	149,554	149,751	150,800	152,404	152,100	154,213	153,400	155,440
年間総配水量(千m <sup>3</sup> )	52,334	51,601	52,307	50,879	52,511	52,546	52,476	50,455	52,641	50,097	52,761	49,878	52,644
1日平均配水量(千m <sup>3</sup> )	143	141	143	139	143	144	144	138	144	137	145	136	144

### 収支計画

単位:百万円

		H25 決算	H26 見込	H26 決算	H27 計画	H27 決算	H28 見込	H28 決算	H29 計画	H29 決算	H30 計画	H30 決算	R元 計画	R元 決算
収 益 的 収 支	水道料金	4,943	5,074	5,052	5,260	5,259	5,271	5,265	5,192	5,255	5,166	5,275	5,138	5,240
	一般会計補助金	14	13	14	12	12	10	9	8	8	8	7	7	7
	長期前受金戻入	—	239	239	243	244	242	243	257	243	242	249	240	261
	その他	36	177	167	56	53	40	48	39	28	30	27	30	20
	計	4,993	5,503	5,472	5,571	5,568	5,563	5,565	5,496	5,534	5,446	5,558	5,415	5,528
	人件費	609	699	698	750	696	727	706	681	625	661	619	662	651
	物件費等	881	1,104	978	1,184	961	1,054	964	1,145	1,016	1,092	1,085	1,092	1,067
	減価償却費等	1,924	2,161	2,163	2,185	2,180	2,191	2,197	2,238	2,217	2,257	2,302	2,252	2,300
	支払利息	904	861	861	830	811	753	753	719	696	665	643	620	587
	その他	37	98	69	25	3	2	3	12	3	8	4	8	14
計	4,355	4,923	4,769	4,974	4,651	4,727	4,623	4,795	4,557	4,683	4,653	4,634	4,619	
純損益	638	580	703	597	917	836	942	701	977	763	905	781	909	
積立金処分別	638	580	703	1,001	917	1,460	1,566	701	977	763	905	781	909	
繰越利益剰余金	624	887	887	483	887	0	0	0	0	0	0	0	0	
資 本 的 収 支	企業債	1,352	1,336	1,100	1,350	1,351	1,594	1,415	1,498	1,470	1,281	1,191	1,343	1,127
	国県補助金	0	0	0	0	0	9	9	15	22	25	23	29	16
	一般会計補助金	69	59	59	48	48	41	40	27	27	26	26	25	25
	出資金	140	180	180	150	150	110	110	158	158	86	111	0	0
	その他	111	96	81	111	90	94	99	91	133	111	140	110	182
	翌年度繰越工事資金	0	0	11	0	15	0	8	0	42	0	20	0	23
	計	1,672	1,671	1,409	1,659	1,624	1,848	1,665	1,789	1,768	1,529	1,471	1,507	1,327
	建設改良費	2,204	2,126	1,818	2,421	2,248	2,550	2,438	2,752	2,672	2,327	2,459	2,478	2,476
	企業債償還金	2,099	2,162	2,162	2,180	2,180	2,211	2,211	2,184	2,184	2,196	2,196	2,181	2,181
	計	4,303	4,288	3,980	4,601	4,428	4,761	4,649	4,936	4,856	4,523	4,655	4,659	4,657
収支不足額	2,631	2,617	2,571	2,942	2,804	2,913	2,984	3,147	3,088	2,994	3,184	3,152	3,330	
繰越補てん財源	935	1,011	1,046	747	1,044	1,167	1,100	1,645	1,771	1,532	1,797	1,369	1,632	

# 収支計画・目標指標のまとめ

## 下水道事業の収支計画

計画値  
 実績値

### 需要予測

	H25 決算	H26 見込	H26 決算	H27 計画	H27 決算	H28 見込	H28 決算	H29 計画	H29 決算	H30 計画	H30 決算	R元 計画	R元 決算
下水利用戸数(戸)	148,571	149,900	150,201	151,200	151,622	153,146	153,525	154,700	155,788	156,300	157,815	157,900	159,168
年間処理水量(千m3)	58,886	58,061	58,458	57,248	59,051	57,329	56,847	56,870	56,529	56,415	58,194	56,117	57,394
1日平均配水量(千m3)	161	159	160	156	161	157	156	156	155	155	159	153	157

### 収支計画

		H25 決算	H26 見込	H26 決算	H27 計画	H27 決算	H28 見込	H28 決算	H29 計画	H29 決算	H30 計画	H30 決算	R元 計画	R元 決算	
収 益	下水料金	4,961	4,904	4,903	4,960	4,868	5,373	5,367	5,331	5,383	5,307	5,406	5,283	5,404	
	一般会計補助金	1,360	1,313	1,263	1,271	1,235	1,217	1,157	1,193	1,075	1,139	1,052	1,099	975	
	長期前受金戻入	—	1,442	1,456	1,520	1,500	1,557	1,558	1,519	1,511	1,503	1,522	1,580	1,525	
	その他	428	471	470	497	425	413	413	406	390	401	390	401	378	
	計	6,749	8,130	8,092	8,248	8,028	8,560	8,495	8,449	8,359	8,350	8,370	8,363	8,282	
	的 支 出	人件費	649	692	698	727	694	759	752	699	656	681	657	723	681
		物件費等	1,540	1,692	1,654	1,645	1,514	1,524	1,473	1,702	1,643	1,594	1,669	1,594	1,737
		流域維持管理 負担金	595	592	575	597	593	619	609	634	607	635	619	639	617
		減価償却費等	2,173	3,587	3,634	3,724	3,661	3,748	3,748	3,653	3,635	3,643	3,687	3,783	3,633
		支払利息	1,490	1,426	1,426	1,392	1,362	1,269	1,269	1,227	1,180	1,145	1,093	1,088	1,004
その他		223	136	104	142	33	57	45	54	30	49	37	49	17	
計		6,670	8,125	8,091	8,227	7,857	7,976	7,896	7,969	7,751	7,747	7,762	7,876	7,689	
純損益	80	5	1	21	171	584	599	480	608	603	608	487	593		
積立金処分額	80	5	1	21	171	805	820	480	608	603	608	487	593		
繰越利益剰余金	221	366	366	366	366	0	0	0	0	0	0	0	0		
資 本 的 収 支	企業債	2,653	3,715	3,336	2,886	2,531	3,700	3,099	2,885	3,032	3,458	2,716	2,857	2,882	
	国県補助金	1,355	2,263	2,139	753	577	1,778	1,174	1,077	1,310	1,610	840	1,404	1,318	
	一般会計補助金	340	326	328	404	350	357	384	361	372	351	423	347	392	
	負担金	89	156	144	146	147	106	103	142	142	122	110	123	111	
	翌年度 繰越工事資金	96	0	13	0	22	0	78	0	322	0	110	0	341	
	計	4,341	6,460	5,934	4,189	3,583	5,941	4,682	4,465	4,534	5,541	3,979	4,731	4,362	
	建設改良費	3,404	5,537	4,973	2,909	2,252	4,750	3,402	3,147	3,266	4,277	3,036	3,464	3,310	
	企業債償還金	3,416	3,618	3,618	3,762	3,762	3,895	3,895	3,987	3,987	4,107	4,107	4,238	4,238	
	計	6,820	9,155	8,591	6,671	6,014	8,645	7,297	7,134	7,253	8,384	7,143	7,702	7,548	
	収支不足額	2,479	2,695	2,657	2,482	2,431	2,704	2,615	2,669	2,719	2,843	3,164	2,971	3,186	
繰越補てん財源	1,665	1,386	1,406	1,219	1,244	1,090	1,220	1,480	1,873	1,420	1,712	1,399	1,702		

# 収支計画・目標指標のまとめ

## 目標指標のまとめ（水道事業）

目標指標		H27	H28	H29	H30	R元	考え方	
有収率の向上	目標値	平成30年度に有収率を78.5% ※平成25年度実績:77%					-	有収率の向上により効率的な配水を行う。
	実績値	74.7	74.8%	74.4%	74.5%	74.1%		
配水管の耐震化	目標値	/	46%	47%	47%	48%	基幹管路(口径300mm以上)の耐震化率	
	実績値		44.6%	44.9%	45.6%	45.8%		45.9%
確実な事業投資	目標値	計画期間内に年度平均24億円の事業投資					24.5億円	老朽化対策等への事業投資を確実に行うことにより、安心・安全な事業を継続
	実績値	22.1億円	23.9億円	26.5億円	24.4億円			
水道への切替	目標値	井戸水から水道への切替を各年度140戸					215	水道利用者の増加を図ることで、料金収入の安定的な確保を目指す。
	実績値	142	138	130	210			
収納率の向上 ※1	目標値	98.34%	98.36%	98.38%	98.40%	98.42%	事業運営の財源の柱である料金収入を確実に確保する。	
	実績値	98.60%	98.73%	98.90%	98.99%	99.05%		
経常収支比率 ※2	目標値	110%以上					119.9%	料金収入等の確保、経費の削減に努め利益を確保する。
	実績値	119.7%	120.4%	121.4%	119.4%			
自己資本構成比率 ※3	目標値(H28修正)	/	37.0%	38.0%	39.0%	40.0%	企業債の発行を抑制し、財務体質の改善を図る。	
	実績値		36.0%	37.6%	39.1%	41.1%		42.8%
補てん財源	目標値	計画期間内の各年度に約10億円の確保					16.3億円	財政的に安定した企業経営のため、事業運営における手持ち資金を一定額確保
	実績値	10.4億円	11.0億円	17.7億円	18.0億円			
企業債残高	目標値(H28修正)	/	338億円	331億円	322億円	313億円	企業債の発行の抑制により、次世代の負担の軽減を図る。	
	実績値		343.8億円	335.9億円	328.7億円	318.7億円		308.2億円

### ※1) 収納率について

本プランに示す収納率は、水道料金と下水料金を合わせた調定総額に対する収納率を示します。

### ※2) 経常収支比率について

「(営業収益+営業外収益) / (営業費用+営業外費用) × 100」により算出される経営指標。  
数値が100を超えると収益が費用を上回っており(利益が出ている)、収支が良好であることを示します。

### ※3) 自己資本構成比率について

「(資本金+剰余金+繰延収益) / (負債+資本合計) × 100」により算出される経営指標。  
総資本に占める自己資本の割合を示しており、数値が大きいほど健全な財政状況を示します。

# 収支計画・目標指標のまとめ

## 目標指標のまとめ（下水道事業）

目標指標		H27	H28	H29	H30	R元	考え方	
確実な事業投資	目標値	計画期間内に各年度平均30億円の事業投資 (雨水渠を除く。)					30.1億円	老朽化対策等への事業投資を確実に 行うことにより、安心・安全な事業を継続
	実績値	17.5億円	28.4億円	26.3億円	22.8億円			
井戸水メーター設置	目標値	計画期間内の各年度に450戸設置					170	メーター設置により、使用水量による料金 賦課の増加、認定基準適用世帯の減少 を図る。
	実績値	170	211	200	165			
収納率の向上 ※1	目標値	98.34%	98.36%	98.38%	98.40%	98.42%	事業運営の財源の柱である料金収入を 確実に確保する。	
	実績値	98.60%	98.73%	98.90%	98.99%	99.05%		
経常収支比率 ※2	目標値(H28修正)	/	106%以上				107.7%	料金収入等の確保、経費の削減に努め 利益を確保する。
	実績値		102.2%	107.6%	107.8%	107.8%		
自己資本構成比率 ※3	目標値(H28修正)	/	48.0%	48.5%	49.0%	49.5%	企業債の発行を抑制し、財務体質の改善 を図る。	
	実績値		47.6%	47.8%	48.6%	49.4%		
補てん財源	目標値	計画期間内の各年度に約10億円の確保					17.0億円	財政的に安定した企業経営のため、事業 運営における手持ち資金を一定額確保
	実績値	12.4億円	12.2億円	18.7億円	17.1億円			
企業債残高	目標値(H28修正)	642億円	631億円	620億円	614億円	600億円	企業債の発行の抑制により、次世代の負 担の軽減を図る。	
	実績値	633.0億円	625.1億円	615.5億円	601.6億円	588.0億円		

### ※1) 収納率について

本プランに示す収納率は、水道料金と下水料金を合わせた調定総額に対する収納率を示します。

### ※2) 経常収支比率について

「(営業収益+営業外収益) / (営業費用+営業外費用) × 100」により算出される経営指標。  
数値が100を超えると収益が費用を上回っており(利益が出ている)、収支が良好であることを示します。

### ※3) 自己資本構成比率について

「(資本金+剰余金+繰延収益) / (負債+資本合計) × 100」により算出される経営指標。  
総資本に占める自己資本の割合を示しており、数値が大きいほど健全な財政状況を示します。